

2月6日 フィリピン諸島の地震

2012年2月6日12時49分（日本時間、以下同じ）に、フィリピン諸島の深さ47kmでMw6.7（震源要素は米国地質調査所〔以下USGSと表記〕、Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震について、気象庁は同日13時04分に「破壊的な局地的津波発生の可能性は小さい」旨の北西太平洋津波情報を発表した。この地震の発震機構（気象庁CMT解、速報）は、西北西―東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

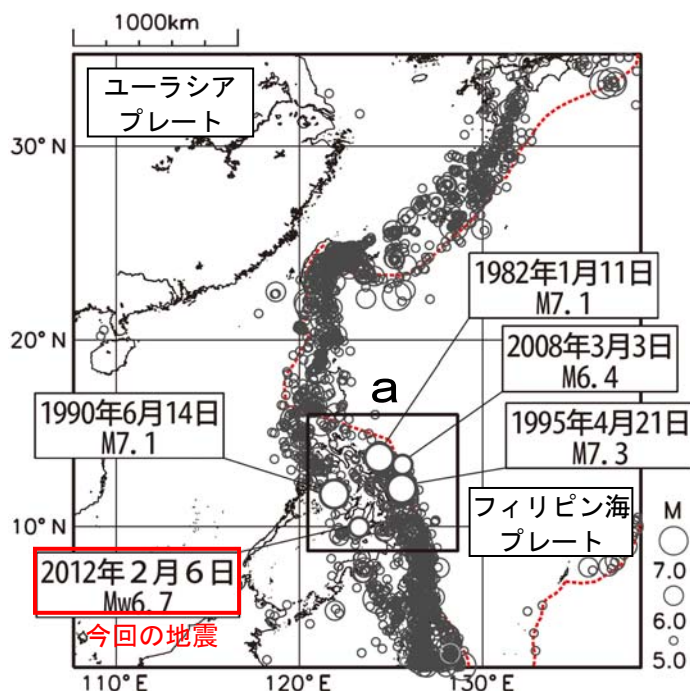
この地震により、少なくとも48人が死亡し、92人が行方不明となっている（2月7日現在、USGSによる）。

また、6日19時10分にMw6.0の地震が発生するなど、いくつかの余震も観測されている。

1980年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域b）では2011年7月12日にMw6.4の地震が発生していた。

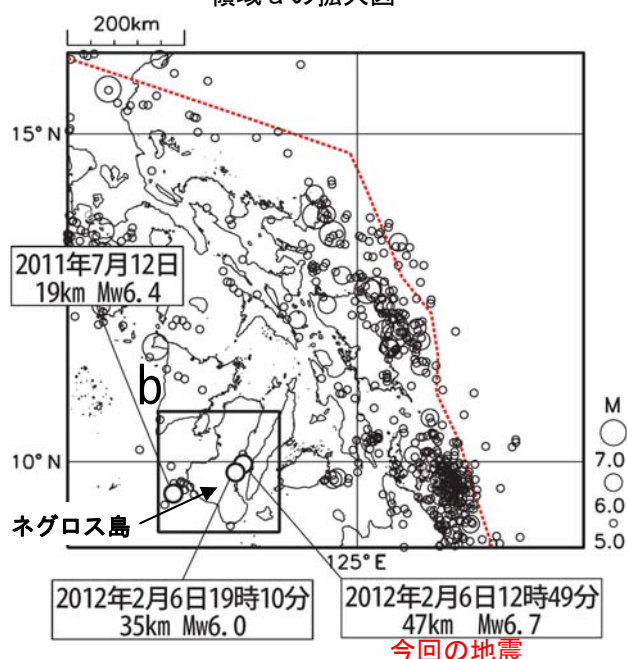
震央分布図（1980年1月1日～2012年2月6日、 $M \geq 5.0$ 、深さ0～100km）

2月6日12時49分の地震のMwは気象庁による。それ以外の震源データはUSGSによる。

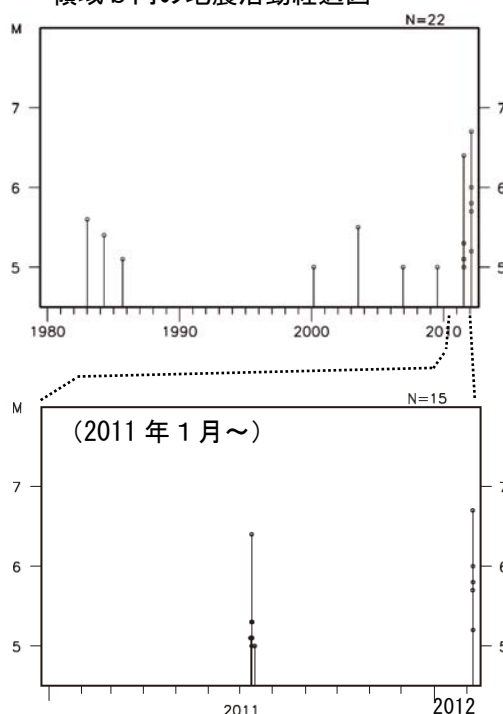


..... はおおまかなプレート境界を表す。

領域aの拡大図



領域b内の地震活動経過図



今回の地震の発震機構（気象庁CMT解、速報）

